

平成26年 6月 9日
バンコク産業情報センター
中野 秀紀

一般調査報告書

タイへの進出について～BOI 恩典を中心として

公益財団法人あいち産業振興機構が発表した「2012年における愛知県内企業の海外事業活動」によれば、愛知県に本社を置く1,404企業がアジアへ進出し、うちタイには235企業、インドネシアへは117企業、ベトナムには85企業もの進出が確認されています。

また、同調査における、今後の進出先検討国としても、東南アジアでは、特にタイ、インドネシア両国への進出意欲が高くなっています。

戒厳令、クーデター下においても、当バンコク産業情報センターへは日々、タイへの進出を目指し、様々な業種の県内企業の方がご相談に来られています。

クーデター発令直後、タイで活動する県内企業（製造業）において、主要道路での検問強化により一時的に部品供給に時間的な遅れが見られましたが、現在では特段のトラブル等は見られません。日本人が多く暮らすスクンビット地区においても、日常の生活に特段の支障は出ていない状況で、日本人学校、幼稚園も通常通り稼働しています。

今後も、カンボジア、ラオス、ミャンマーなど新興国を含むASEANのハブとしてタイへの投資は依然として魅力的だと、タイへの投資促進機関であるBOI（タイ投資委員会）の原田投資アドバイザーはおっしゃっています。

そこで、原田アドバイザーにBOI制度に関わる良くある質問等を伺ってきました。

Q1：BOIとはどんな組織でしょうか？

BOI (Board of investment)は、1954年に設立された行政機関です。工業省の管轄であり、タイ国内や外国からのタイへの投資を促進することを目的としています。金額ベースで約6割が日系企業からの投資です。

Q2：良く聞くBOI 恩典とは何でしょうか？

立地するゾーン*により恩典の内容は違いますが、日系企業の相談が多いゾーン2を例にすれば、以下のようになっています。

*立地するゾーンにより、3つの地域に分かれており、恩典に濃淡が設けられています。

(ゾーニングについて http://www.boi.go.th/index.php?page=boi_zoning)

○ゾーン2の税制上の特典（一般原則）

	法人所得税	機械・設備 輸入関税	輸出製品用 原材料輸入関税
工業団地・BOI 奨励工業地域内	5年間免除 (経過措置により 2014年12月 末までの申請分は 7年間免税)	免税 (2014年12 月までの申請とす る。)	1年間免税、但し延 長可能
上記以外	3年間免税	50%減税	

Q3：今後、BOIを利用しタイへ進出される方へのメッセージをお願いします。

タイ政府としては、クーデター等の政変を経て、日本を含む外国からの信頼の回復を目指しています。とりわけ、愛知は、多くの企業が進出している自動車産業はじめ、タイ政府も力を入れる航空機産業などタイへの投資が期待される所所であります。

以下に、今までの日系企業へのアドバイスをもとに留意点をお示しします。

- ① BOIの恩典の付与は、会社に対してではなくプロジェクト単位(複数可)です。
- ② 恩典ありきではなく、事業計画をしっかりと構築され、BOI恩典利用がどう自社の戦略にプラスとなるか御検討をお願いします。
- ③ 恩典の使用には、奨励証書を受領して以後、決まった日数以内に様々な手続きが別途必要となります。(例：原材料のリストおよび量の承認申請30営業日以内)
- ④ 申請について、過度に第三者（コンサルタント等）に依存しすぎないことをおすすめします。申請プロセスについてしっかりと関与、把握をお願いします。

Q4：恩典は今後、変化するのでしょうか？

2015年1月以降、新たな投資恩典の施行を予定しています。ただし、一連の政治混乱で新制度の実施がずれ込む可能性があります。

見直しの方向性として、ゾーン別恩典の廃止、高付加価値・知識集約型産業の集積の促進、法人所得税免税等の対象業種の削減などがあります。

BOI恩典の対象業種リストのガイドラインとしては概ね以下のとおりです。

セクター1：農業および農産物

- ・農業セクターの増強

R&D促進および先端技術、特にバイオテクノロジー、有機農業、食品安全規格およびトレサビリティ技術の使用による当セクターの持続的発展

- ・農産物から最大限の付加価値を促進

食品—食品加工、食品添加物、食品の成分、栄養補助食品、医療食品

非食品—ハーブ製品、天然ゴム製品、農業副産品および廃棄物、化石燃料の依存度低減のためのエタノール、バイオジーゼルなどバイオ燃料

セクター 2 : 採鉱、セラミックおよび基礎金属

- 国内の主要産業の基礎産業および重要裾野産業を促進すること

例：上・中・下流鉄鋼、鋼管、鋳鉄、鍛鋼部品、先端セラミック製造からハイテク基礎素材になる先端素材への拡大

セクター 3 : 軽工業

- 繊維およびファッション産業のアップグレードを促進

特に繊維、糸または機能性繊維、ファッション業界における R & D とデザインおよび高水準の廃水処理方法をもつ高品質のなめし、印刷、仕上げ技術

- 複雑な製造工程をもった資本集約型または技術集約型産業を促進

例：医療機器、科学機器、レンズまたは眼鏡

- タイの対外投資を促進すること

高いコストと労働不足により競争力が低下しているセクター

セクター 4 : 鉄鋼製品、機械および運送機器

- 自動車のサプライチェーンを強化

エンジンの製造、ハイテク自動車部品、新型車（ハイブリッド、電気自動車）の部品および重要な裾野産業—機械製造、金属製品・部品の製造を促進すること。

- 他の機関と協力で新たな自動車プロダクトチャンピオンを創出

例：電気自動車、大型オートバイ

- タイに需要又は可能性のある他の輸送機器の製造を促進

例：造船、船舶の修理、飛行機部品・機器、電車部品・機器

セクター 5 : 電気・電子機器

- 産業およびサプライチェーンのアップグレード

R & D、電子設計、ハイテク部品・機器の製造、電子農業機器や電子事務機器、電子医療機器、電子科学機器、通信機器など他の産業の競争力を高める特殊電子部品を促進すること。また Organics & Printed Electronics (OPE) 製造など新しい奨励対象業種を開設する。

- ・基礎恩典を削減すること
産業全体の競争力を高めるためにR&D、デザイン、先進技術トレーニング、国内サプライヤー開発への投資を促す。
- ・製造工程の複雑でないE&E業種にファシリテーションすること
機械および原材料の輸入関税を免除し、非税的恩典を付与すること。

セクター6：化学品、紙、プラスチック

- ・主要上流産業および裾野産業を促進すること
例：石油化学、化学品、薬剤の有効成分、肥料の材料、パルプおよび紙、ハイテクプラスチックまたは紙のパッケージ
- ・環境にやさしい産業を促進すること
環境にやさしい化学品、ポリマー、生物分解性のあるポリマーの製造を促進すること。
- ・タイで製造されていないより高付加価値のある製品へのアップグレードを促進する。 例：特殊ポリマー、化学品、特殊紙

セクター7：サービスおよび公共施設

- ・タイ経済および産業に重要な基礎インフラを促進すること
例：工業団地（特に技術型工業団地）、発電（特に再生可能エネルギー）、水道、産業用水、ロジスティクス、商業空港、産業支援サービス、グリーン経済支援サービス、R&D、人材開発、エンジニアリングデザイン
- ・タイに高い可能性のあるサービスを促進すること
例：観光支援業種、MICE、専用ヘルスセンター、映画制作および裾野サービス

Q5：BOIにまつわる情報は日本ではどこで入手したらよろしいでしょうか？

ホームページで適宜、最新情報を日本語で提供しています。

- ・BOI日本語HP：<http://www.boi.go.th/index.php?page=index&language=ja>
- ・BOI投資ガイド（現時点での詳しいBOI投資案内です。）
http://www.boi.go.th/upload/content/BOI-A%20Guide%202011-JP-REV20110928_63695.pdf
- ・東京、大阪のBOI事務所：http://www.boi.go.th/index.php?page=oversea_office
- ・BOI本部に常駐する原田アドバイザーに直接質問、個別相談（無料）することができます。

原田アドバイザー連絡先：555scb@anet.net.th

電話番号 02-936-2560（直通）（日本からは+66-2-936-2560）

今後も当センターでは、現地の情報を発信してまいります。

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

バンコク産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。

本情報の採否は読者の判断で行ってください。

また、万一不利益を被る事態が生じましても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。